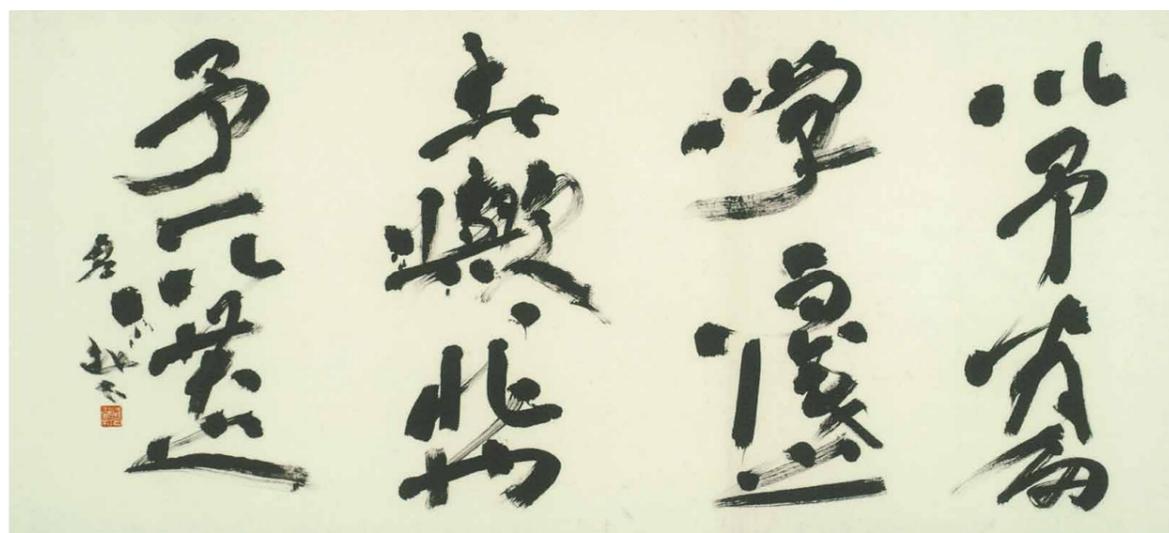


MARUSEN

SPORTS & CULTURE

NO. 8

平成23年度



財団法人
マルセンスポーツ・文化振興財団

CONTENTS

ごあいさつ	1
財団法人の概要	2
役員・評議員名簿	4
平成23年度 事業報告	5
第1章 助成事業関係	
1 スポーツ活動に対する助成	5
2 文化活動に対する助成	6
第2章 表彰事業関係	
1 マルセン大賞	7
2 マルセン賞	7
3 マルセン特別表彰	8
第3章 イベントの開催(協賛)	
1 スポーツ	9
2 文化	9
第4章 贈呈式	10
第5章 ホットコーナー	
天満屋女子陸上競技部20年	11
古里・岡山を描く作家たち	13
第6章 受賞者からのひとこと	
1 マルセン文化大賞	重松 清 15
2 マルセンスポーツ賞	小野 陽平 17
	川口 敬二 18
	森政 芳寿 19
	永木 伸児 20
	中野真奈美 21
	藤田 健児 22
3 マルセン文化賞	澤田 虚遊 23
	上原 進 24
4 マルセン特別賞	田中 三郎 25
第7章 スポーツ・文化に関する広報、啓発事業	
1 ホームページの管理	26
2 機関誌「マルセン」8号の発刊	26
3 スポーツ・文化活動助成事業の広報	26
資料	
事業の記録	27
平成22年度 収支計算書	32
貸借対照表	33

表紙写真/第42回日展 特選 受賞作品「伝承録」 澤田 虚遊

裏表紙写真/天満屋女子陸上競技部 第30回 全日本実業団対抗女子駅伝 優勝記念サイン

ごあいさつ

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団は、岡山県のスポーツ・文化の振興発展と県民の皆さまが健康で豊かな心をもって生活できる環境・社会の実現を願い平成16年2月に設立されました。お陰さまをもちまして8年目を迎えることができました。このことは、皆様方の温かいお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年、1000年に1度と言われた「東日本大震災」が発生しました。予測を超えた巨大地震と津波、原発事故に放射能漏れが起きました。被災された方々の悲しみや苦しみはいかばかりかとお察し申し上げます。希望と不安が交錯する中1日も早い復興への足取りを願うばかりでございます。

このような中、7月にスポーツ・文化活動に少しでもお役に立てますよう活動助成事業や表彰事業を行い、さらに11月には、音楽の鑑賞を通して、少しでも心豊かなひと時を過ごしていただきたく、第1回と第3回のマルセン文化賞受賞のお二人を迎え、「川島 基&松本和将 ～スーパーピアノデュオリサイタル～」を開催いたしました。

このたび、活動の記録として、「マルセン」第8号の発刊の運びとなりました。どうぞ高覧のうえご指摘を賜れば幸いに存じます。ご協力を賜りました関係各位に心より厚く御礼申し上げます。

今後とも地域の皆さまのスポーツ・文化活動に貢献できますよう一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご指導及びご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団
理事長 千原 多美子

財団法人の概要

I 概要

財団法人マルセンスポーツ・文化振興財団は、平成16年2月20日付けで岡山県教育委員会の許可を得て設立されました。

当財団は、寄附行為第3条で、その目的を「岡山県のスポーツ・文化の振興発展を図るとともに県民が健康で豊かな心を持って生活できる環境・社会の実現」と規定し、その目的達成のため、次の5項目

- 1 スポーツ・文化活動に対する助成
- 2 スポーツ・文化活動に対する表彰
- 3 スポーツ・文化に関するイベントの開催
- 4 スポーツ・文化に関する広報啓発育成事業
- 5 その他目的を達成するために必要な事業
を定め活動を開始しております。

II 沿革

平成16年 2月27日	財団設立。岡山市富町二丁目4番4号に事務所を設置
平成16年 3月26日	初代理事長に千原多美子就任
平成16年12月14日	第1回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成16年12月23日	第1回スポーツイベント協賛 第23回山陽女子ロードレース大会
平成17年 2月28日	晴れの国おかやま国体へ助成
平成17年 3月11日	第1回文化イベント 岡山フィルハーモニック管弦楽団第26回定期演奏会チケットプレゼントの実施
平成17年 7月14日	晴れの国おかやま国体への助成（2回目）
平成17年 8月 3日	第2回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成18年 1月13日	財団のロゴマークの選考・決定
平成18年 4月 1日	公益法人指導監督担当課の変更により岡山県教育委員会から岡山県知事所管となる
平成18年 7月21日	第3回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成18年 8月 4日	コミュニティライブラリーの設置(岡山市駅前・岡山会館1階) 「晴れの国おかやま国体写真展 あの感動をもう一度!」 表彰者紹介コーナー・映像コーナーの設置
平成18年11月 3日	川島 基ピアノリサイタルの開催
平成19年 7月24日	第4回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成19年11月 2日	第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア2007」「生涯学習見本市」に出展

役員・評議員名簿

平成24年1月1日現在

平成20年 3月 8日	マルセン少年サッカー教室の開催(岡山湯郷ベル)
平成20年 7月29日	第5回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成20年11月 9日	岡山県生涯学習フェスティバル2008「マルセンバルーンアート教室」の開催
平成20年12月 1日	新公益法人制度施行により「特例民法法人」となる
平成21年 2月25日	「マルセン写真コンテスト入選作品展」岡山天満屋地下タウン「アートスペース」において開催(3月2日まで)
平成21年 3月 8日	「マルセン少年陸上競技教室」の開催
平成21年 6月24日	第25回国民文化祭おかやま2010への助成金贈呈
平成21年 7月17日	岡山市北区駅前町一丁目2番4号へ事務所を移転。
平成21年 7月27日	第6回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成21年 8月 6日	「マルセン写真コンテスト入賞絵はがき」のプレゼント
平成21年10月18日	マルセン少年バレーボール教室の開催(岡山シーガルズ)
平成22年 1月13日	「スポーツ・文化の振興についての論文」入賞者表彰式の開催
平成22年 3月 5日	「悠久への回帰 高橋秀 展」チケットプレゼントの実施
平成22年 5月13日	第25回国民文化祭おかやま2010への助成金贈呈(2回目)
平成22年 7月 5日	第7回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催 マルセン栄誉大賞新設
平成22年 8月 5日	「マルセン小学生ソフトボール教室in岡山ドーム」の開催(平林金属女子ソフトボール部)
平成22年 8月12日	新田 佳浩氏(スポーツ大賞) 理事長へ表敬訪問
平成22年 9月26日	「川島 基ピアノリサイタル」チケットプレゼント
平成23年 2月25日	「モネとジヴェルニーの画家たち」展チケットプレゼント
平成23年 3月13日	「バレーボールプレミアリーグ」チケットプレゼント
平成23年 7月 8日	新公益法人制度移行に伴う「最初の評議員の選任方法」の認可
平成23年 7月12日	第8回マルセンスポーツ・文化賞表彰式及びスポーツ・文化活動助成金交付式の開催
平成23年 7月26日	RSKラジオ「おかやま元気応援団」に活動助成金交付者21団体出演(7月26日～10月11日の毎週火曜日2団体出演)
平成23年11月 3日	「川島基&松本和将 ～スーパーピアノデュオリサタル～」演奏会の開催(岡山シンフォニーホール)
平成24年 3月 4日	成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団PRESENTS 東北楽天イーグルス野球教室の開催
平成24年 3月10日	2012プロ野球オープン戦チケットプレゼント

役員名簿

役職名	氏名	会社名
理事長	千原 多美子	(株)成通 取締役
常務理事	千原 秀 則	(株)センインターナショナル 代表取締役社長
理 事	伊 東 香 織	倉敷市長
//	加 計 孝太郎	学校法人 加計学園 理事長
//	川 崎 誠 治	学校法人 川崎学園 副理事長
//	越 宗 孝 昌	(株)山陽新聞社 代表取締役社長
//	高 谷 茂 男	岡山市長
//	吉 岡 洋 介	(財)ワコーススポーツ・文化振興財団 理事長
//	千 原 行 喜	(株)成通 代表取締役社長
監 事	衣 笠 和 孜	岡山療護センター センター長
//	信 朝 寛	元岡山県審議監

五十音順 敬称略

評議員名簿

役職名	氏名	会社名
評 議 員	馬 越 績	馬越績税理士事務所 所長
//	大 田 弘 之	テレビせとうち(株) 代表取締役社長
//	北 尾 好 昭	(株)瀬戸内海放送 常勤顧問
//	中 川 洋 一	西日本放送株式会社 岡山本社 中国総支社 支社長
//	原 憲 一	山陽放送(株) 代表取締役社長
//	平 松 掟	平松弁護士事務所(元日本弁護士連合会副会長)
//	藤 井 邦 昭	岡山ネットワーク株式会社 代表取締役社長
//	宮 内 正 喜	岡山放送(株) 代表取締役社長
//	若 狭 正 吾	岡山エフエム放送(株) 代表取締役社長
//	藤 田 土 義	(株)成通 相談役

五十音順 敬称略

平成23年度 事業報告

第1章 助成事業関係

岡山県において、スポーツ・文化の振興及び発展に寄与するための諸活動に助成を行いました。

1 スポーツ活動に対する助成(応募総数/25件 採用件数/10件)

番号	団体名	活動名	活動目的
1	NPO岡山プロツアリーグ	岡山プロツアリーグ	高齢者の卓球大会参加により、健康増進及び生きがいを与える。卓球技術弱者の選手にも多くの試合経験の場を与え、本人のやる気を支える大会
2	県主タイヨーズ	県主タイヨーズ(ソフトボール競技)	ソフトボールを通じて、お互いを助け合い、励まし合って体力づくりに励み、心身ともに健康な子どもを育てる。各種大会に出場するなど年間を通じ活発に活動している。
3	岡山県還暦軟式野球連盟	第21回西日本還暦軟式野球大会	60歳以上の選手達で構成した、静岡県から沖縄県までの西日本各地から40チームの参加による軟式野球大会。岡山県内で実施することで、地域の活性化やスポーツ振興に役立てる。
4	財岡山県サッカー協会&岡山シニアサッカー連盟	ジュニア&シニアふれあいサッカーフェスティバル	ジュニア選手の指導と試合。選手の父兄及び県民にフルコートのピッチでサッカーを行う。その後シニア60歳以上の選手による紅白戦を観戦、観覧の方に末長くサッカーに親しむ意識を植え付けたい。
5	財団法人岡山県武道振興会	本県の武道の振興と青少年の健全育成を図る活動	岡山県民特に青少年の間に武道を普及奨励をすることにより、その精神を高揚し、質実剛健の気風を育成し、もって柔剣道の普及振興に寄与する。
6	総社剣道スポーツ少年団	総社剣道スポーツ少年団創立45周年記念剣道錬成大会	日本スポーツ少年団の目的に従い、地域の学校教育以外において剣道を通じて青少年の心身の健全な育成に資することを目的に活動を行っている。このたび創立45周年を迎え記念の錬成大会を開催し、剣道の精神と他少年団との交流を深め、今後の発展につなげたい。
7	ソフトバレーボール さくらリーグ	ソフトバレーボール さくらリーグ	過疎化が進む中山間地域で、若者から高齢者までの交流の場と参加者全員の健康増進のため。毎週木曜日の練習と年2回の町内各地から参加のソフトバレーボールのリーグ戦を行う。
8	備前市体育協会	第60回備前市えびす駅伝競走大会	参加者と市民が共に交流を図りながら市の活性化並びに健康づくりとスポーツの振興を目的とする。第60回節目の大会として参加者をはじめ陸上愛好者の記念に残る大会としたい。
9	湯郷キッズボウリングクラブ「スプリット」	湯郷キッズボウリングクラブ「スプリット」	スポーツボウリングを通じ、仲間づくりやマナーを学びながら体力、技術向上を目指す。各種大会を年数回実施。全国小学生ボウリング大会選考会、県民ボウリング大会出場を目指している。
10	ローラースキーかがみの大会実行委員会	第6回全日本選抜ローラースキーかがみの大会	冬季クロスカントリースキー競技のオフシーズンの練習用に開発された「夏版クロスカントリースキー」の大会である。地元の景観を生かしたコースの内容設定と整備を行い、本大会が全国的に認知されることを目指している。

2 文化活動に対する助成(応募総数 /46件 採用件数/11件)

番号	団体名	活動名	活動目的
1	岡山混声合唱団	岡山混声合唱団創立65周年記念演奏会	創立65周年に当たり、当財団の歩みを集大成する記念の演奏会として、「歌曲の王」シューベルトの生涯最後のミサ曲第6番変ホ長調全曲を広く公募する一般団員を含め、地元オーケストラ・岡山フィルハーモニック管弦楽団の協演を得て演奏し、地方文化の振興に資する。
2	春日歌舞伎協力会(美作市立栗井小学校内)	栗井春日座 子ども歌舞伎	子どもの歌舞伎の伝承並びに実演。毎年10月に小学校区内の春日歌舞伎保存会による歌舞伎が上演されており、その演目の一部を代々本校小学6年生が演じている。継続した地域の子どもの活動の維持するため、事前学習に役立てたい。
3	こどもアートビエンナーレ実行委員会	子どもアートビエンナーレ	誰でも参加できる2年に一度の子ども(中学3年生まで)の美術の作品展。参加者の負担を減らすため、参加費は、無料とし、多くの参加者を募り絵画を楽しんでもらう。
4	サイエンスフィールド親子科学教室	サイエンスフィールド親子科学教室	科学実験や自然体験を通じ児童生徒の創造力や豊かな人間性を育む。科学の分野別テーマに沿ったストーリーをもとに演習実験を交えながら対話を行い、講師と子どもたち、親と子のコミュニケーションを深め、科学に対する理解増進を図ることを目的とする。
5	宿場町やかげ流しびなの会	宿場町やかげ流しびな・流しびな行列	コミュニティ活性・子どもからお年寄りまでの幸せを願って開催。平安絵巻を彷彿とさせる流しびな行列は訪れる人々の全てを夢の世界へと包み込む伝統文化として地域振興と文化意識の向上に繋がっている。
6	瀬戸内市立美術館	特別展「平山郁夫展」	平山郁夫画伯の画業を追悼し、平山画伯の「日本画のこころ」を継承しようとする展覧会。(財)平山郁夫美術館と協力。平山画伯の作品展示と講演会等を通じて、来館者に芸術作品と平山精神に触れる機会を提供する。
7	田賀屋狂言会	田賀屋狂言会 大曲・稀曲を観る会	日本の伝統芸能である狂言の普及と後楽園の幻想庭園企画に協賛。出演者は京都から大蔵流茂山家、当主茂山千五郎師をはじめ6人程度を予定。伝統芸能の普及の観点から多くの方の鑑賞を目的としている。
8	中庄の歴史を語り継ぐ会	100年前の"ふるさと中庄"の様子を探そう!	大正・昭和初頭のふるさとの姿を紹介する。地域の埋もれた事績や人物を、後世の人たちにきちんと語り継いでゆく仕事の大切さを知ってもらおうと共に記録や資料の発掘保存の活動をしており、その成果を発表する。
9	奈義町立図書館	図書館朗読公演活動	読書活動及び朗読・音訳活動の普及・振興のため、奈義朗読サークルが、主に大人を対象にした文学作品等の朗読会の講演を行う。過去の講演を通じて得た課題を見据え新たな活動の充実を図りたい。
10	新見美術館	新見が生んだ孤高の画家 一藤井哲 遺作展一	新見市出身の洋画家 藤井 哲の60年にも及ぶ画業を県内外に広く紹介することで、郷土作家にスポットをあてると共に秀作を厳選し、初期から晩年までの作品を一堂に展覧し顕彰する。
11	わたしたちの夏委員会	第6回子どもに伝えるものづくりフェア	地域の子どもの体験を通して物づくりの意味や楽しさを伝える。主として、地域の物づくりに携わるつくり手を中心となり、物づくりの意味や楽しさ、難しさや工夫を実際に作ることを通じて体験することと共に自分たちの地域に目を向けるきっかけにしよう。

1 マルセン大賞

平成22年度スポーツ活動において国際大会・全国大会等で、特に優秀な成績・業績を収めた個人又は団体並びに文化活動において文化の振興に著しく貢献した個人又は団体を表彰した。

【マルセン文化大賞】 (副賞/100万円)

●重松 清 【文芸 小説】

●重松 清氏は、作家として直木賞をはじめ数々の賞を受賞し、昨年は大衆文学の熟練者に贈られる吉川英治文学賞を受賞した。氏は、現代の家庭を描くことで多くの話題作を発表し、ドラマ映画のノベライズ、雑誌記者としても活躍した。また、自身の体験を通して、学校での子どものいじめ問題をルポルタージュばりの鋭い切り口で取り上げるなど弱者の目線に立った視点で読者に夢と希望と自信を与えている。フリーライターとしても数種のペンネームを持ち、手がけた著作は数百冊、雑誌の原稿も膨大な数にのぼり、文学による文化の振興に著しく寄与し、ベストセラー作家として多くの国民から愛されるとともに、広く津山市民からも郷土の誇りとして敬愛されており岡山県民の誇りである。

※ マルセンスポーツ大賞の該当者なし

2 マルセン賞

平成22年度スポーツ活動において優秀な成績を収めた個人、団体又はスポーツの振興に貢献した個人、団体並びに文化の振興に貢献した個人、団体を表彰した。

【マルセンスポーツ賞】 (副賞/30万円)

●小野 陽平 【テニス競技】

●平成22年度全国高等学校総合体育大会 テニス競技 男子シングルス優勝。
岡山県勢初優勝を飾る。
●小学校5年から元プロ選手の五藤健介コーチから薫陶を受けその才能を開花した。
大学進学後の現在も活躍しており、今後ますますの活躍が見込まれる。

●川口 敬二 【自転車競技の指導】

●高校から始める選手がほとんどの自転車競技において、私財を投げ打って自転車の車体やパーツを揃えとともに 最新の科学トレーニングを取り入れるなど優れた指導力を発揮。平成13年からインターハイ、国体、ジュニアオリンピック等で延べ8人の勝者を輩出し、世界ジュニア選手権をはじめ、日本代表として各種国際大会にも選手を多数派遣している。
特に平成22年度は、黒瀬耕平選手の(3年)が3キロ個人追抜きで、インターハイ、ジュニアオリンピックで2冠を達成し、アジアジュニア選手権では個人3位、4キロ団体追い抜きで金メダルを獲得。多田晃紀選手(2年)全国都道府県対抗大会1キロタイムトライアル、奥村諭志選手(2年)は国体少年男子ケイリンでそれぞれ優勝し、計3人が全国大会を制した。このように自転車競技の普及、発展のために努めている。

●興譲館高等学校陸上競技部 【陸上競技】

●平成22年度全国高等学校女子駅伝競走大会において、5年振り2度目の優勝を飾った。
●平成23年1月の全国都道府県対抗女子駅伝競走大会において、平成22年優勝の3選手が出場し、準優勝に貢献するなど岡山県長距離界にその力を大いに発揮し、岡山県の名を高めた。
また、卒業生では、新谷仁美(千葉陸協)、重友梨佐・小原 怜(天満屋)等多くの選手が競技を続けており今後の活躍が期待されている。

●永木 伸児 【空手道競技】

●平成22年第20回空手道世界選手権(セルビア共和国・ベルグラード市) 男子組手67Kg級 第3位入賞
世界で活躍している選手であり、空手道の普及・発展に広く貢献している。人格も素晴らしく少年たちの憧れの存在であり、岡山県ゆかりの選手として、その活躍は岡山県民の誇りである。

●中野 真奈美 【サッカー競技】

●平成22年11月 第16回アジア競技大会(2010広州)にサッカー女子日本代表(なでしこジャパン)の一員として参加。優勝(金メダル)獲得に貢献した。日本女子がアジアのタイトルを獲得したのは初めてである。

●藤田 健児 【ボクシング競技】

●平成22年度全国高等学校総合体育大会 ボクシング競技 ライト級 優勝
●第65回国民体育大会(千葉国体) ボクシング競技 少年男子ライト級 2位
●平成22年 全日本アマチュアボクシング選手権 ライト級 優勝
高校2年生がタイトルを取るのは、昭和62年のヘビー級小島桂太以来3人目の快挙である。

【マルセン文化賞】 (副賞/30万円)

●澤田 虚遊 【書道】

●昭和58年日展に初入選し、以後26回入選の実力者である。そして、平成22年第42回日展第五科(書)において、「練達の充実した線がスケールの大きさと美しい余白を生んだ」と高く評価され、初めて特選に選ばれた。県内から漢字書の特選受賞者が出たのは58年振りの快挙である。

●宮内踊保存会 【無形民俗文化財の振興】

●宮内踊は、吉備津神社の門前町として栄えた宮内で、毎年7月31日の夜行われる盆踊りである。同保存会は宮内踊の保存と普及及び後継者の養成に尽力しており、7月の日曜ごとに地元鯉山小学校区内4ヶ所において、指導者や子どもたちへ踊りを指導している。
●地域での伝承活動のほか、市内外のイベントに招かれて公演しており、日頃の成果を発表するとともに、広く宮内踊を知ってもらおう努力を重ね活発な活動を展開している。

3 マルセン特別表彰

平成22年度において、マルセンスポーツ賞・マルセン文化賞と同程度の功績等をあげた団体を表彰した。

【マルセン特別賞】 (副賞/30万円)

●天満屋女子陸上競技部 【陸上競技部】

●平成22年12月19日、岐阜県で開かれた第30回全日本実業団女子駅伝において、1区 泉 友花、2区 小原 怜、3区 中村友梨香、4区 栗栖由江、5区 重友梨佐、6区 浦田佳小里のメンバーで、2時間14分35秒のタイムをマークし初優勝を飾った。また、平成22年の全国都道府県対抗女子駅伝大会においても4名(小原 怜・浦田佳小里・泉 友花・中村友梨香)のメンバーを出し、岡山県チームの初優勝にも貢献。女子駅伝強豪岡山の牽引的役割を果たしている。

第3章 イベントの開催(協賛)

1 スポーツ

●第30回山陽女子ロードレース大会(協賛)

平成23年12月23日(金・祝)開催 岡山市内

●成通グループ・(財)マルセンスポーツ・文化振興財団PRESENTS 東北楽天イーグルス野球教室

平成24年3月4日(日) 倉敷マスカット球場

参加者88名 講師 楽天ゴールデンイーグルスジュニアコーチ

●プロ野球オープン戦チケットプレゼント

平成24年3月10日(土) 倉敷マスカット球場 招待 23組(46名)応募数305

平成24年3月11日(日) 倉敷マスカット球場 招待 23組(46名)応募数581

2 文化

●第7回沙美アートフェスト(協賛)

平成23年5月14日(土)開催 倉敷市沙美海岸(53作品)

展覧会 倉敷市立美術館第1展示室 23年8月16日~21日

●(社)岡山県文化連盟・文化講演会「文化のつどい」(助成)

平成23年8月22日(月) ルネスホール

講演 「伝統文化を学びなおす-和魂ルネサンス」

講師 環太平洋大学長 梶田 勲一氏

演奏 IPU・環太平洋大学マーチングバンド

平成23年8月24日(水) 天神山文化プラザホール

講演 「表現と未来」

講師 劇作家・演出家・燐光群主宰 坂手 洋二氏

演奏 高橋昌子&イウス・フェミーネ合唱団

●マーチング・イン・岡山(協賛)

平成23年10月9日(日)~10日(月・祝)開催 岡山駅東口・さん太広場他

●「川島 基&松本和将 スーパーピアノデュオリサイタル」主催

平成23年11月3日(木・祝)

岡山シンフォニーホール 大ホール

招待 1700名



●岡山県民俗芸能大会(協賛)

平成23年11月19日(土)~20日(日) 奈義町文化センター

第4章 贈呈式

●とき 平成23年7月12日(火) 午前11時より

●ところ ホテルグランヴィア岡山「クリスタル」の間

●式次第 1 開 式

2 あいさつ

3 来賓祝辞

4 表彰状及び副賞贈呈

5 受賞者代表あいさつ

6 助成金交付

7 助成金受領者代表あいさつ

8 閉 式



天満屋女子陸上競技部20年

24歳のニューヒロインが誕生した。1月29日の大阪国際女子マラソン。日本歴代9位の2時間23分23秒の好記録で、福士加代子（ワコール）ら並居る強敵を抑えてゴールテープを切ったのは天満屋の重友梨佐だ。ロンドン五輪女子マラソンの代表選考レースでの圧巻の独走劇。岡山市に拠点を置く天満屋女子陸上競技部にとって4大会連続の五輪出場に当確ランプをともした。今年、創部20年の節目を迎える同部。重友の胸のすく走りは国内屈指の名門チームの力量をあらためて全国にアピールした。

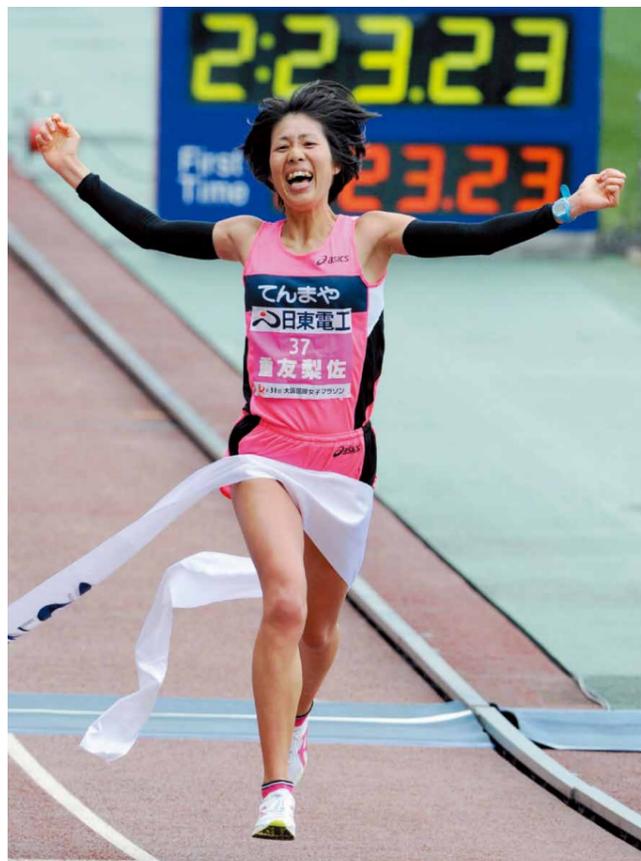
チームは1992年4月、メキシコ五輪マラソン代表の佐々木精一郎を神戸製鋼から監督に招き、選手14人でスタートした。4カ月遅れで現在の監督・武富豊がヘッドコーチとして神戸製鋼から合流した。武富は練習で選手のペースメーカーを務め、若い選手をぐいぐい引っ張り、底上げを図った。2年目の93年全日本実業団駅伝で早くも4位入賞。マラソンでは95年名古屋国際女子で当時のエース小松ゆかりが初優勝を飾り、世界選手権代表になるなど「天満屋」の名は次第に全国に浸透していく。

佐々木から武富が監督のバトンを受け継いだのは96年。選手の個性をとことん伸ばす卓越した手腕の下、「岡山から世界へ」が合言葉のチームは大きく躍進する。山口衛里の2000年シドニーを皮切りに04年アテネの坂本直子、08年北京の中村友梨香と3人の女子マラソン五輪代表を輩出した。

ダイエーを経て1993年に入社した山口は、99年の東京女子マラソンで快勝し、天満屋勢初の五輪切符を獲得。2000年シドニー五輪は途中転倒しながら粘り強く走り7位に入った。

続いたのが99年入社の坂本だ。03年大阪国際女子で2時間21分51秒の初マラソン日本最高記録を樹立し3位に入り、同年の世界選手権4位。04年大阪国際女子で初優勝を飾り、アテネ五輪は猛暑と高低差のある難コースに16人が途中棄権するサバイバルレースに屈することなく、7位入賞した。

3人目が中村。坂本と同じ県西宮高から04年入社。初マラソンの08年名古屋国際女子で2時間25分51秒で優勝し、北京五輪代表の座を射止めた。アテネ五輪金のエース野口みずき（現シ



ロンドン五輪代表選考会の大阪国際女子マラソンで初優勝のテープを切る重友梨佐

スメックス)が故障欠場に見舞われる中、当時22歳のランナーは孤軍奮闘し、男女を通じ日本勢最高の13位となった。

世界選手権は小松以降、マラソンで松尾和美（01年）松岡理恵（01、03年）坂本（03年）、トラックで中村（09年）が日本代表に名を連ねた。

全日本実業団駅伝での抜群の実績も見逃せない。昨年まで20年連続出場し、入賞14度、うち表彰台（3位以内）が7度。10年には悲願の初優勝を遂げた。マラソンのみならず駅伝でも日本女子長距離界をけん引する存在だ。毎回主力を送り込んでいる全国都道府県駅伝は10年に岡山の初優勝に大きく貢献した。国体にも毎年選手を送り出し、岡山県の競技力向上の一翼を担っている。



一層の飛躍を誓い、カンコスタジアムを走り込む天満屋のメンバー

05年には陸上をメインとした総合型地域スポーツクラブ「桃太郎夢クラブ」を発足させ、ジュニア育成にも尽力。「地元密着のチームとして、岡山スポーツ界への貢献を目標にしている。天満屋を応援していただいている地元へのわずかな恩返しと考えている」と武富監督は話す。

「成人」を迎えるチーム。ジュニアの憧れと郷土の期待を背に2012年、ピンクのユニホームはひと際輝きを増していく。

（文は2012年3月1日現在、敬称略）
（本文、写真、表いずれも山陽新聞社提供）



全日本実業団対抗女子駅伝で初優勝し、記念写真に納まる天満屋の選手、スタッフら

【天満屋女子陸上競技部の歩み】

1992年	創部
93年	全日本実業団女子駅伝4位
95年	◎名古屋国際女子マラソン優勝・小松ゆかり ■世界選手権マラソン12位・小松ゆかり
98年	北海道マラソン優勝・山口衛里 シドニーマラソン優勝・小松ゆかり
99年	全日本実業団女子駅伝2位 北海道マラソン優勝・松尾和美 ☆東京国際女子マラソン優勝・山口衛里
2000年	ベルリンマラソン優勝・松尾和美
01年	■シドニー五輪マラソン7位・山口衛里 ◎大阪国際女子マラソン3位・松岡理恵 ◎名古屋国際女子マラソン優勝・松尾和美 ■世界選手権マラソン9位・松尾和美
	// 22位・松岡理恵
	全日本実業団女子駅伝3位
02年	淡路島女子駅伝優勝
	◎東京国際女子マラソン2位・松岡理恵
03年	◎大阪国際女子マラソン3位・坂本直子 ■世界選手権マラソン4位・坂本直子
04年	☆大阪国際女子マラソン優勝・坂本直子 ■アテネ五輪マラソン7位・坂本直子
05年	全日本実業団女子駅伝2位
06年	ウィーンマラソン優勝・森本友 // 2位・山崎智恵子
	全日本実業団女子駅伝3位
07年	ユニバーシアードハーフマラソン2位・寺田恵 全日本実業団女子駅伝3位
08年	☆大阪国際女子マラソン2位・森本友 ☆名古屋国際女子マラソン優勝・中村友梨香 ■北京五輪マラソン13位・中村友梨香
09年	◎日本選手権5000メートル優勝・中村友梨香 ■世界選手権1万メートル7位・中村友梨香
	全日本実業団女子駅伝2位
10年	ベルリンマラソン3位・森本友
	全日本実業団女子駅伝優勝
11年	北海道マラソン優勝・森本友 実業団女子駅伝西日本大会優勝
	全日本実業団女子駅伝4位
12年	☆大阪国際女子マラソン優勝・重友梨佐

【注】◎は世界選手権代表選考会、☆は五輪代表選考会、■は世界大会

古里・岡山を描く作家たち

岡山で少女時代 原田マハさん 「でーれーガールズ」 青春の思い出描く
備前出身 小手鞠るいさん 「望月青果店」 家族見つめ新境地

岡山市で少女時代を過ごした原田マハさん=東京都=と、備前市出身の小手鞠るいさん=米ニューヨーク州。岡山県ゆかりの人気作家2人の近刊は、岡山が舞台。自らを投影した主人公が紡ぐ二つの物語は「いつか必ず書きたかった」という古里への温かな思いが詰まっている。

題名からして岡山弁全開なのは原田さんの「でーれーガールズ」（祥伝社、1470円）。原田さんにとって小学校6年の終わりから高校卒業までを過ごした岡山市は「仕事に行き詰まったときでも、今日も桃太郎大通りに路面電車が走っているんだなーと思うだけで元気が出る“心のよりどころ”」だそう。



はらだまは
原田マハ

1962年生まれ。東京都出身、在住。小学6年の終わりに東京から岡山に転居、三門小から石井中、山陽女子高卒業までを岡山市で過ごした。商社勤務などを経て森美術館創設準備に携わった後、現代美術キュレーター、カルチャーライターとしても活躍。最初の小説「カフーを待ちわびて」（宝島社）で第1回日本ラブストーリー大賞を受賞、映画化。作家、エッセイストの原田宗典さんは実兄。

その岡山を初めて舞台にした長編小説は、山陽女子高時代の大切な思い出をたっぷり盛り込んだ。母校の女子高の講演に招かれ、およそ30年ぶりに親友に再会する主人公の漫画家鮎子45歳は、原田さんそっくりだ。

転校生だった16歳の鮎子がクラスになじもうと岡山弁をわざと使ってみたり、ノートに理想の恋人ヒデホ君との恋愛マンガを描くエピソードも実話。「私が書いた物語をクラスメートが回し読みし、みんなで空想の男の子に憧れたりして…」。

ヒデホ君に恋してしまう鮎子の親友武美は「クラスメートの権化として描いた」。当時の経験が後に鮎子を漫画家として成功させるように、原田さん自身も作家への原点になったという。

「10代の友情は一生もの。私ならこう表現するという岡山を書けた」と原田さん。鮎子と武美が岡山弁でおしゃべりしながら青春を謳歌する1980年の岡山には実在の飲食店がたくさん登場する。「岡山のいいところを小説を通じて広められたらうれしい」



小手鞠さんが3年ぶりに書き下ろした「望月青果店」(中央公論新社、1680円)で描くのは、ときには反発するけれど、心の奥で通じあうお母さんのような古里だ。

主人公の鈴子は夫と米国に暮らし、岡山県北のひなびた温泉地で青果店を営む実家には長く帰っていない。ある日、母の体調が悪いと知らせが入り、鈴子は捨ててきた過去に思いを巡らせていく。

米国暮らし、目の悪い母—の設定は自身と重なるけれど大半はフィクションだ。「岡山はフルーツが有名



なので、まず青果店のイメージが浮かび、書いていくうちに自然に物語ができてきた」

実は長く古里を描くことにためらいがあったという。「身近で大切だからこそ難しい。私も鈴子のように若いころは県外に憧れ

たし、随分と母にも反発した。米国に暮らして20年がたち、ようやくいい距離を保って見つめられるようになった」

だから、なのだろう。鈴子の母が一針一針に思いを込めて仕上げた刺しゅうのように、登場人物の心のひだを丁寧にすくい取る文章が、母と娘、家族をつないでいく。苦くひりひりとした鈴子の母への感情は、最後は胸の奥に灯がともるような幸福感へと変わる。

“恋愛小説の名手”が境地を広げた新作は、カラフルな果物が場面を印象的に彩る甘酸っぱい家族の絆の物語。こちらも岡山弁のぬくもりが心に染みる。

(文、写真ともに山陽新聞社提供)



こでまりるい
小手鞠るい

1956年備前市生まれ。小学5年まで備前市で過ごし、小6から岡山市へ。中山中、朝日高を経て、同志社大法学部卒。81年に「詩とメルヘン賞」、92年に米国に移住。93年に「おとぎ話」で第12回「海燕」新人文学賞、2005年に第12回島清恋愛文学賞を受賞。「アメリカ人を好きになってわかったこと」などエッセーや翻訳物は多数。米国・ニューヨーク州ウッドストック在住。

マルセン文化大賞

マルセン文化大賞を受賞して代表あいさつ

作家 重松 清



昨日で、東日本大震災から4カ月が経ちました。震災の現場には何度も入ってきました。来週からは、チェルノブイリへ取材に行くことになっています。震災の後に、この文化大賞受賞の知らせをいただきました。本当は、お断りしなければいけないだろうと思っておりました。と言いますが、僕は岡山県出身であります。生活をしたことがないので、本当は僕ではなくて地元をしっかり根ざして郷土のためにやっている方の賞だと認識していますので、ここに立っているのが少し申し訳ない気持ちです。

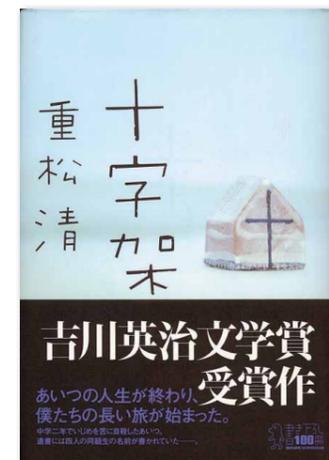
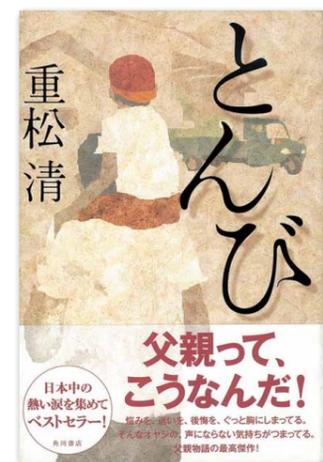
東日本大震災がまだ終わったということとはとても言えませんが、震災は「古里とは何であろうか」「古里の人と人とを結びつけるものは何だったのだろうか」ということを、僕たちにあらためて教えてくれたのだと思う。丁度震災から間もない時期に高校野球の選抜大会がありました。宮城県の東北高校が出場するかどうか、むしろ東北高校のサイドから「自粛すべきではないか」という声もあったのですが、地元の皆さんは、「そうではないんだ」「郷土の東北高校の選手たちが甲子園で、はつらつとプレーしている姿を見ることがわれわれの励みになるんだ」というような経緯があって、東北高校が出場したんです。やはり、スポーツそれから文化の与える古里への誇りとか、古里への愛情を生み出すとき、文化の力、スポーツの力というのはこれからますます大きくなっていくのではないだろうか。今インターネットの世界で、グローバル化、グローバル化といわれる中であって、世界が小さくなって、さまざまなビジネスが、お金が、政治が、そういうものがどんどん世界レベルになってゆくと、逆に今度は、文化、われわれの生活に、われわれの風土に、この古里に根ざした文化とは何だろうか、そしてスポーツとは何だろうか、が大きく問われると思います。その面では、本当に、今日の主役は、こちらにいらっしゃるむしろ僕ではなくて、むしろ僕はあいさつするためにここに来たんだと思っています。本当はまた、こういうスポーツや文化というものとはたった1度の表彰で、あるいは副賞で終わるものでなくて、未長い応援の眼差しを注いでいただけたらなあと考えています。おりしも岡山県でも高校野球の県大会が始まると思います。僕の甥っ子も甲子園には少し遠いと思いますが、高校球児です。僕も岡山県に住んだことはないとは言いながらも、甲子園大会では、岡山県代表の高校を応援すると思うんです。それから、相撲でも最近岡山県出

身の力士はあまり見ませんが、昔の鷲羽山の成績をずっと気にしておりました。そんな風に力があるんだと思います。

最後に、東日本大震災の現場に向かったときに、3月でした岡山県の赤十字の皆さんが現場で働いていらっちゃって、背中に岡山県と書いてあるんですね。その時に、なにか岡山県出身でよかったなあと思いました。

それを思うと、本当はスポーツも文化もこういう活躍をしたから賞を取ったからというだけでなく、もっともっと目立たないけれど地道にやっていたらっしゃる方、誠実にやっていたらっしゃる方に光が当たるといいなあと考えています。その面でもマルセンスポーツ・文化賞のきめ細やかな眼差しを、来年以降も、今後はOBとして期待しております。

(平成23年7月12日・ホテルグラウンヴィア岡山)



マルセンスポーツ賞



マルセンスポーツ賞受賞にあたって

小野 陽平

この度は、名誉あるマルセンスポーツ賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。

わたしは、昨年夏に沖縄県で行われたインターハイテニス選手権大会の個人戦シングルスで優勝することができました。昨年のこの大会は、インターハイの競技種目の中でも最も歴史が古く、第百回となる記念の大会でした。歴代優勝者に男子では松岡修造、女子では、伊達公子など蒼蒼たる方々が連ねる節目の大会で優勝できたことは、今でも夢のように感じています。

今回の優勝は、もともと才能のなかったわたしを熱心にご指導いただいたラスタットテニスクラブの五藤コーチや関西高校の内藤監督をはじめとする多くの関係者の方々によって成し遂げる事ができたものと、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、大会に向けた「毎日夜十時を超える6時間の練習」、「真夏の炎天下でのウインドブレイカーを着ての地獄の練習」さらに、「大会半年前、疲労による転倒での顎の骨を折る大けが」これらの経験も優勝で報われ、今ではよい思い出となりました。

今回、夢を締めず努力すれば、実現することを体験できました。しかし、この優勝は、一つの通過点であり、次はインカレ優勝を目標とし、大学卒業後はプロテニスプレイヤーとして世界で戦うことができる選手になれるよう「心」「技」「体」を磨きたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

最後になりましたが、この受賞にあたりご尽力いただきました関係各位に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。



マルセンスポーツ賞



「マルセンスポーツ賞受賞にあたって」

岡山工業高校自転車競技部 監督 川口 敬二

この度は「マルセンスポーツ賞」という名誉ある賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。受賞の感動と同時に賞の重みに身の引き締まる思いを感じているところであります。

振り返ってみれば早いもので、私が自転車競技を指導するようになって23年の歳月が流れました。その間には色々な紆余曲折がありましたが、今ここにこの賞をいただくことができたことを、たいへん嬉しく思います。

ところでスポーツの世界では、優勝であるとか新記録であるとか、とかくトップ選手の活躍に関心が向くものです。しかし、現実問題として私がこれまでに最もエネルギーを費やしてきたことは、たまたま入部してきた運動能力のあまり高くない選手達をいかにして強化するかということでした。そして試行錯誤の末にたどり着いた回答が、4Kmチームパーシュートやチームスプリントなどの団体種目の強化でした。この種目は徹底した反復練習とチームワークによって競技力を大きく伸ばすことが可能であるばかりでなく、協調性や責任感など人間力も同時に成長させることもできると確信しています。そしていつのまにか気付くと、このような選手達の成長を見ることが私の最大のモチベーションとなっていました。そしてアジア選手権優勝の黒瀬耕平も、世界選手権を戦った野上侑矢や奥村諭志も、このような指導環境の中から大きく成長して結果を残してくれました。これからも団体種目の強化をベースに、更に上のステージで活躍できる選手の育成を目指したいと考えています。最後になりましたが、受賞にあたりご尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、マルセンスポーツ文化振興財団の今後益々の発展を心より祈念申し上げます。ありがとうございました。



中国大会総合12連覇



マルセンスポーツ賞

マルセンスポーツ賞受賞にあたって

興譲館高等学校 森政 芳寿

女子第22回全国高等学校駅伝競走大会において優勝し、その功績を認めてくださいましたおかげで、この度、2度目となりますマルセンスポーツ賞を受賞いたしました。このような栄に浴することができましたのも、偏に皆様のおかげと感謝いたしております。

興譲館高等学校陸上競技部女子チームの監督に就任して、実に12年の歳月が過ぎましたが、この間、いろいろなことがありました。岡山県高校駅伝初出場で初優勝を飾った1年目は私にとってたいへん意義深い年でした。中学校を退職し、高校へ赴任したわけですが、舞台が一つ広く大きくなり、経験することすべてが初めてという環境で、多くのことを学び、体験することができました。創部当初から多くの方々にバックアップしていただきました。温かい支援に恵まれたなかで、私は「感謝の心」を学び、選手たちは伸び伸びと目標に向かって練習することができました。それから7連覇した後に全国大会で悲願の初優勝、そしてその5年後に2度目の優勝をしたわけですが、道のりは決して平坦なものではありませんでした。苦しかった時、楽しかった時、悩んだ時、いろいろとありました。しかし、そのすべてが私の「財産」になったと思いません。選手たちもこの12年間、苦しい時、不安な時、伸び悩みの時等いろいろとありました。しかし、自分たちが決めた目標を達成するため、ひた向きに、心をこめて走り切ってくれました。チームは初代からキャプテンを中心によくまとまり、常に挑戦する心を忘れることなく練習に取り組んでくれました。選手たちのおかげでこのように表彰を受けることができたのです。監督として、感謝の気持ちでいっぱいです。私自身、この12年間の体験が必ずこれからの原動力になってくれるものと確信しています。指導力の至らなさは多々ありますが、選手とともに大きな目標を達成できるよう、チーム一丸となって練習に、大会に取り組んでいきたいと思っておりますので、これからも選手共々よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、受賞に際しましては皆様にお世話になり、本当にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げ、挨拶とさせていただきます。



マルセンスポーツ賞

受賞にあたって

永木 伸児

この度は、マルセンスポーツ賞という名誉ある賞をいただき、誠に光栄なことと感謝しております。マルセンスポーツ・文化振興財団関係者の皆様、またご声援をいただきました皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

昨シーズンは世界空手道連盟主催の第20回世界空手道選手権大会男子組手67Kg以下級で3位という結果に終わりました。第17回の同大会では優勝しましたが、その後ケガもあり前回は3位だったため、今回は優勝する気持ちで臨みました。

準々決勝まで勝ち進み、準決勝でもポイントでリードを奪いましたが、一瞬の隙を衝かれ敗退しました。20代後半にもなり同年代の選手が次々やめていく中で、肉体づくりから見直し、十分な稽古、入念なケアをして臨みましたが、力及ばず悔しい思いをしました。

この3位という結果は、まだまだ頑張れということだと受け止め、この悔しさをバネに次の世界大会での優勝を目標に精進してまいります。空手母国日本の代表として堂々たる試合をし、日の丸を一番高いところに掲げるため日々稽古に励みます。

今後ともご支援ご声援のほどお願い申し上げます。



マルセンスポーツ賞



マルセンスポーツ賞受賞にあたって

岡山湯郷Belle MF No.7 中野 真奈美

この度、マルセンスポーツ賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。ごぞいます。

2010年11月に開催された「第16回アジア競技大会2010/広州」で初優勝(金メダル)が評価されたわけですが、個人としては初のアジアチャンピオンのメンバーに入ったことは光栄に思います。出場機会が少なく、もっと勝利に貢献したかったという、悔しい気持ちもあります。

2012年「岡山湯郷Belle」も新チームとして活動がスタートしました。私も6年目のシーズンを迎えます。チームの中堅としてチームを引っ張っていくつもりで日々頑張っています。

昨年2011年リーグ戦を第4位、全日本女子選手権をベスト4という成績を残す事が出来ました。まだまだ上位を狙い、4月からの2012年シーズンへ向け、湯郷Belleでしっかり結果を残し、女子日本代表に再度選ばれるよう、心も体も鍛え本当に「強い」選手になりたいです。今後とも皆さんの温かいご声援をお願いいたします。



マルセンスポーツ賞



受賞にあたって

倉敷高等学校3年 藤田 健児

この度は、マルセンスポーツ賞を受賞させていただき、誠にありがとうございました。

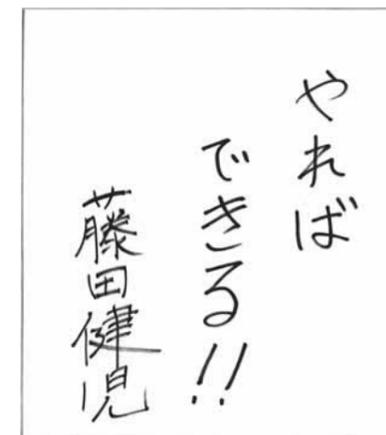
昨年は、大学生や社会人が出場する全日本選手権に出場し、史上3人目となる高校2年生での優勝を成し遂げました。また、今年はボクシング史上初となるインターハイ3連覇も達成することができました。大きなプレッシャーと戦い、乗り越えたこの1年はこれからの人生に繋がる大きな財産になったと思います。

全日本選手権では、大学生や社会人のいる中での出場ということもあり、不安もありましたが、勝っても負けても挑戦者の気持ちで試合に臨んだ事が、優勝という最高の結果に繋がったと思います。また、この大会での優勝によりロンドンオリンピック出場への夢にまた一歩近づくことが出来ました。

さらに、今年の夏行われた秋田インターハイでは、ボクシング史上初の大会3連覇や全日本王者として格の違いを見せなければいけないという重圧の中での大会で、守りに入ってしまう場面もありましたが、徐々に調子を上げていき、結果、同じ高校生相手に格の違いを見せて優勝することが出来ました。この結果は、とても嬉しかったし、これからのに向けて精神的に大きな心の財産になったと思いますが、まだまだ上には上がいるので、これだけでは満足せずにさらに上を目指そうと思えた大会でした。

ここからはいよいよロンドンオリンピックに向けての最終予選が始まります。最後のチャンスまで決して諦めず、この1年の大きな経験を生かして必ずオリンピックへの切符を手にとりたいと思います。

最後になりましたが、私を支えて下さった方々に感謝し、これからもより一層精進していきたいと思っています。



マルセン文化賞



「これから」

書家 澤田 虚遊

平櫛田中翁の言葉に『五十六はなたれ小僧』…というフレーズがあります。今、まさにその年齢となりました。時間の許す限り古典の臨書を日課としています。古典は、いつもツンと澄まして冷やかなものです。しかし、常に求める心を持ち、畏敬の念を忘れず精進を怠らなければ時として微笑むこともあります。これがなんと嬉しい至福の一時であり、筆を持っていて良かったと思う瞬間でもあります。一度至福を味わえば、三年は辛抱できるように思います。

さて、『書は人なり』と言われる。また、『老塾の芸術』とも言われます。書には巧拙はもとより ①心情 ②生活態度 ③思想 ④心象

⑤品格 までが現れます。他の芸術に比してもお化けか妖怪のように恐ろしい芸術だと言われるが、私も全く同感です。

その上に、ゆっくりと時間をかけて醸成しなければ人の心に響く作は書けません。どう考えてもやっかいな道に迷い込んでしまったものです。

この度の名誉ある受賞を節目として更に精進し、この道の普及発展にも微力を尽くしたいと存じます。大所高所からご指導下さいますよう、お願い申し上げます。



マルセン文化賞



宮内おどり

保存会 会長 上原 進

カッチリ、カッチリ、カチ、ヤアトセ、オイドン、単調な太鼓の音頭の中、雅な振りの手踊りや扇子を使った扇子踊りの宮内おどりが例年披露されます。

毎年7月31日吉備津神社への奉納盆踊りとして、五穀豊穡・無事息災を祈願し、夏祭りが催されます。老若男女、大人・子供を問わず、多くの人が輪になって踊りに興ずる夏の風物詩であります。

宮内は、吉備津神社の門前町として開け、その上幕府や諸大名の干渉を受けない治外法権地となり、御朱印地芝居が行われたため、全国にその名が知られ、頼山陽のいわゆる「備中宮内、山陽一の歌吹郷」と言わしめるほどの繁栄をしました。最盛期には、約百戸の妓楼が軒を連ね、300人の遊女を擁し弦歌さんざめく紅灯の巷が出現した。春秋の大市には、芝居、相撲、浄瑠璃、仁輪加、能、狂言など各種の興行が上演され、また富くじや博打も公認されるなど、一大歓楽街が生まれた次第です。そういう世相の中、宮内おどりは、江戸中期(1751~1763)花形役者三耕大五郎により振り付けられ、数多くの遊妓に踊らせました。一見極めて単調な構成ですが、歌舞伎の“南蛮六法くすれ”が導入され、優美と厳格さのある格調高いものであります。260有余年の間には、中止の時もありましたが、仮装踊りなども取り入れ、町内対抗として、盛り上がる時もあり歴史が刻まれました。

昭和34年に岡山県指定重要無形民俗文化財になり、これを機に地元有志により、「宮内おどり保存会」が結成され、伝統文化の継承に活動している次第です。7月10日頃から7月末迄地元の方々へ指導、又地元小学校の先生・児童への講習は年数回有志によって執り行われています。全て手弁当で、資金の出所は全くありません。そのような状況の中でのマルセンさんの援助に心から感謝し、この伝統芸能の火を消すことなく次世代へ継承すべく努力する所存です。



マルセン特別賞



マルセン特別賞受賞にあたって

天満屋女子陸上競技部 部長 田中 三郎

このたびは「マルセン特別賞」という栄えある賞を賜り誠に有難うございました。これもひとえに、これまでご支援いただいた皆さま、そしていつも大きな声援をお送りいただいている皆さまがたのお陰と深く感謝いたしております。

全日本実業団対抗女子駅伝で優勝することは私たちにとって大きな大きな目標であり悲願でした。それだけに昨年の第30回大会での初優勝はこの上ない喜びでありました。今回の受賞を励みに更に精進を重ね、もう一段高いステージを目指して頑張らねばと気を引き締めているところでございます。

同大会のV2は決して容易でないことは十分承知しておりますが、また新たに挑戦者の気持ちで全力を尽くす所存です。年が明けて1月には恒例の全国都道府県対抗女子駅伝が京都で開催されます。2010年にはこちら岡山県チームとして悲願の初優勝を遂げています。今年は惜しくも準優勝となりましたが、またトップの座を奪還できるよう高校生、中学生とともに私たちもその一翼を担いたいと思っています。そして、2012年はロンドンオリンピックが開催される年。これまで女子マラソンで3大会連続の出場を果たしているだけに、途切れさせたくないという強い気持ちを持って日々の練習に取り組んでいます。

来年、天満屋女子陸上競技部はおかげさまで創部20周年の節目を迎えます。これからも感謝の気持ちを忘れず地域の皆さまのご期待に沿えるようチーム一丸となって活動してまいります。引き続きご声援賜りますようよろしくお願いいたします。



1 ホームページの管理



- 平成23年 7月30日 ホームページのリニューアル
- 平成23年10月13日 新CMの開始(成通グループ提供)
- 平成23年10月18日 トップページCM映像更新

2 機関誌「マルセン」8号の発刊

3 スポーツ・文化活動助成事業の広報

- ラジオ番組への出演 番組提供 (株)成通グループ
RSKラジオ パーソナリティ:石田 好伸
「おかやま朝まるステーション昼またぎ」(12:30~40 放送内)
期間 平成23年7月26日~10月11日 毎週火曜日 12回
出演者 平成23年度 助成金交付対象者全員
スポーツ関係10名 文化関係 11名
各団体(個人)の活動状況等をリスナーに知らせる事ができた。

事業の記録

1 表彰の記録

第7回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
22.7.5	スポーツ	栄誉大賞	高橋大輔	スケート競技 フィギュア
		大賞	新田佳浩	スキー競技 クロスカンントリー
		賞	井上 正 県立玉野光南高等学校陸上競技部 皇后杯第28回全国都道府県対抗 女子駅伝岡山県チーム	新体操競技 監督 陸上競技 陸上競技
	文化	大賞	井手康人	美術 日本画
		賞	高田神社横野獅子舞保存会 諸星美喜	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 日本画

第6回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
21.7.27	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	岡山県作陽高等学校ゴルフ部 木村禎宏 山陽女子高等学校 体操部 平林金属男子ソフトボールクラブ	ゴルフ競技 車いすテニス競技 体操競技 ソフトボール競技
		大賞	高原洋一	美術 洋画 版画
	文化	賞	大島の傘踊り保存会 片山康之	無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

第5回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
20.7.29	スポーツ	大賞	天満屋女子陸上競技部	陸上競技
		賞	県立新見高等学校ソフトボール部 県立新見高等学校軟式野球部 福元 美穂 宮間 あや	ソフトボール競技 軟式野球競技 サッカー競技 GK サッカー競技 MF
		大賞	該当者なし	
	文化	賞	井手 康人 小川 尊一 神代郷土民謡保存会 津山市立北陵中学校吹奏楽部 明誠学院高等学校書道部	美術 日本画 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 吹奏楽 書道

第4回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
19.7.24	スポーツ	大賞	該当者なし	
		賞	麻生 薫 岡山県作陽高等学校サッカー部 岡山湯郷Belle 長田 京大 牧野 吉伸	ハンドボール競技 監督 サッカー競技 サッカー競技 新体操競技 監督 ウエイトリフティング競技 監督
		大賞	山口 松太	漆芸
	文化	賞	多胡 昭彦 田丸 稔 宮尾 昌宏	天文学 美術 彫刻 工芸 陶芸

第3回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
18.7.21	スポーツ	大賞	高橋 大輔	スケート競技フィギュア
		賞	楢村 正明 古川 興幸 森政 芳寿	ソフトテニス競技 監督 レスリング競技 監督 陸上競技 監督
		大賞	あさの あつこ	文芸 児童文学
	文化	賞	川島 基 難波 滋 福石神楽団	音楽 ピアニスト 美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能
		特別賞	岡山県剣道連盟 岡山県山岳連盟 岡山シーガルス 関西高等学校ボート部	剣道競技 山岳競技 バレーボール競技 ボート競技

第2回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
17.8.3	スポーツ	大賞	水鳥 寿思	体操競技
		賞	石本 直樹 諸見里 しのぶ 横山 純子	ベンチプレス競技 ゴルフ競技 陸上競技 監督
		大賞	小川 洋子	文芸 小説
	文化	賞	石田 宗之 はやし田植え保存会 濱坂 渉	美術 洋画 無形民俗文化財 伝統芸能 美術 彫刻

第1回 贈呈式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	賞	氏名	種別
16.12.14	スポーツ	大賞	武富 豊	陸上競技 監督
		賞	土井 美智恵 藤原 佳市 柳井 清志	水泳競技(マスターズ) 体操競技 監督 ソフトボール競技 監督
		大賞	高橋 秀	現代美術
	文化	賞	粟井春日歌舞伎保存会 岡山フィルハーモニック管弦楽団 松本 和将	無形民俗文化財 伝統芸能 音楽 管弦楽 音楽 ピアニスト

事業の記録

2 助成の記録

第7回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
22.7.5	スポーツ	100万円	11件	8件	717,020円	第25回国民文化祭おかやま2010 100万円 合計 22件 2,977,020円 累計 150件 19,029,685円
	文化	100万円	43件	13件	1,260,000円	

第6回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
21.7.27	スポーツ	100万円	19件	10件	959,115円	第25回国民文化祭おかやま2010 100万円 合計 25件 3,258,115円 累計 128件 16,052,665円
	文化	100万円	42件	14件	1,299,000円	

第5回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
20.7.29	スポーツ	100万円	34件	10件	996,410円	県立総社南高等学校ダンス部保護者会 100万円 合計 21件 2,996,410円 累計 103件 12,794,550円
	文化	100万円	45件	10件	1,000,000円	

第4回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
19.7.24	スポーツ	100万円	31件	10件	964,500円	合計 21件 1,994,500円 累計 82件 9,798,140円
	文化	100万円	53件	11件	1,030,000円	

第3回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
18.7.21	スポーツ	100万円	36件	10件	970,000円	合計 20件 1,962,000円 累計 61件 7,803,640円
	文化	100万円	27件	10件	992,000円	

第2回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
17.8.3	スポーツ	100万円	34件	10件	988,640円	晴れの国おかやま国体 100万円 合計 21件 2,988,640円 累計 41件 5,841,640円
	文化	100万円	24件	10件	1,000,000円	

第1回交付式(ホテルグランヴィア岡山)

月日	区分	予算	応募数	助成数	助成額	
16.12.14	スポーツ	100万円	31件	10件	1,000,000円	晴れの国おかやま国体 100万円 合計 20件 2,853,000円
	文化	100万円	15件	9件	853,000円	

3 イベントの記録(協賛を含む)

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
22	スポーツ	「男子第49回女子第40回西日本学生ハンドボール選手権大会」協賛	22.7.10~14	-	-	2万円
		マルセン小学生ソフトボール教室の開催	22.8.5	-	92名	28.8万円
		「第29回山陽女子ロードレース」協賛	22.12.23	-	-	105万円
		女子バレーボール V・プレミアリーグ戦 チケットプレゼント	23.3.13	410	100名	25万円
	文化	「第6回沙美アートフェスタ」協賛	22.5.15	-	-	10万円
		岡山県文化連盟 「文化のつどい」 「川島 基ピアノリサイタル」チケットプレゼント 「モネとジヴェルニーの画家たち」チケットプレゼント アンデルセンミュージカル「ハンスの冒険」チケットプレゼント(成通グループ提供)	22.8.25.8.28.9.1 22.9.26 23.2.25~4.10 23.3.19	- - 527 35	- 30名 300名 40名	47万円 10.5万円 4.5万円 -
21	スポーツ	「第28回全国ママさんバスケットボール交歓大会岡山大会」協賛	21.8.7~9	-	-	2万円
		「第2回倉敷国際少年野球大会」協賛	21.8.22~23	-	-	10万円
		「第57回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会」協賛 「マルセン少年バレーボール教室」 山陽ふれあい体育館	21.9.25~27 21.10.18	- -	- 85名	10万円 37万円
		「第28回山陽女子ロードレース」協賛	21.12.23	-	-	105万円
	文化	「第5回沙美アートフェスタ」協賛 「朝鮮王朝の絵画と日本」 チケットプレゼント 絵はがき(写真コンテスト入賞作品) プレゼント 論文募集 岡山県文化連盟 「文化のつどい」 「2009マーチング・イン・オカヤマ」 協賛 (株)NHK文化センター 「アンデルセンinホテルオークラ岡山」 協賛 「悠久への回帰 高橋秀展」チケットプレゼント	21.5.16 21.6.5~7.12 21.7.25~29募集 21.9.1~10.31募集 21.9.5/9.12 21.10.11~12 22.2.21 22.3.5~4.4	- 187通 206通 25点	- 200名 150名 7点 -	10万円 16.6万円 15.2万円 25.4万円 35万円 10万円 5万円 8.4万円
20	スポーツ	「第31回岡山県少年剣道練成大会」協賛	20.6.7	-	-	10万円
		「第1回倉敷国際少年野球大会」協賛	20.8.23~24	-	-	10万円
		「第27回山陽女子ロードレース大会」協賛 「マルセン少年陸上競技教室」開催	20.12.23 21.3.8	- -	- 255名	105万円 32万円
		「第24回全国高等学校新体操選抜大会」協賛 「第25回全国高等学校体操選抜大会」協賛	21.3.26~28 21.3.28~29	- -	- -	10万円 10万円
	文化	「第4回沙美アートフェスタ」協賛 「おかやま国際音楽祭2008」チケットプレゼント(成通グループ提供) 「岡山学びフェスタ2008」「マルセンバレーアート教室」の開催 「おかやま子ども民俗芸能大会」協賛 岡山県文化連盟 「文化講演会」協賛 「マルセン写真コンテスト及び写真展」の開催	20.5.10 20.10.4 20.11.9 20.11.8 20.11.30/12.21 21.2.25~3.2	- 444 -	- 100 220名	10万円 - 7.4万円 10万円 35万円 30万円
		19	スポーツ	「第30回岡山県少年剣道練成大会」協賛 「第26回山陽女子ロードレース大会」協賛 「第56回備前市えびす駅伝競走大会」協賛 「マルセン少年サッカー教室」開催~湯郷Belleの選手を招いて~岡山ドーム	19.6.9 19.12.23 20.2.11 20.3.8	- - -
文化	「第3回沙美アートフェスタ」協賛 くらしきウィーク 2007 in Kansas City 協賛 岡山県文化連盟「文化講演会」協賛「書道」「美術」「シンポジウム」 第19回全国生涯学習フェスティバル 「まなびピア岡山2007」 「生涯学習見本市」へ出展 桃太郎アリーナ			19.5.12 19.7.25~8.1 19.9.9.15.23 19.11.2~6	- - -	- - -

事業の記録

年度	区分	イベント名	実施日	応募数	決定数	金額
18	スポーツ	「第25回山陽女子ロードレース大会」協賛	18.12.23	-	-	105万円
		「第55回備前市えびす駅伝競走大会」協賛	19.2.11	-	-	10万円
	文化	「ポスト国体・フラワーロード事業」協賛	-	-	-	10万円
		「第2回沙美アートフェスト」協賛	18.5.13	-	-	10万円
		「川島 基ピアノリサイタル」開催 コミュニティライブラリーの開設	18.11.3 18.8.4~19.2.16	431通	200名	約40万円 -
17	スポーツ	岡山桃太郎アリーナ落成記念「オリンピックメダリスト体操競技演技会」協賛	17.6.5	-	-	21万円
		「第24回山陽女子ロードレース大会」協賛	17.12.23	-	-	105万円
		「第54回備前市えびす駅伝競走大会」協賛	18.2.11	-	-	10万円
	文化	松本和将「ベートーヴェン3大協奏曲のタベ」チケットプレゼント (岡山シンフォニーホール)	17.4.30	-	100名	30万円
		岡山デジタルミュージアム開館記念「新シルクロード展」チケットプレゼント 「あそべる!おもちゃ展」 協賛 (岡山デジタルミュージアム)	17.10.21~12.18 18.2.17~22	452件	100名	9万円 10万円
16	スポーツ	「第23回山陽女子ロードレース大会」協賛	16.12.23	-	-	105万円
	文化	岡山フィルハーモニック管弦楽団 第26回定期演奏会 チケットプレゼント	17.3.11	710件	100名	36万円

平成22年度 収支計算書

(平成22年4月1日 ~平成23年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	決算額
I 事業活動収支の部		
1 事業活動収入		
基本財産運用収入	400,000	120,000
寄付金収入	12,500,000	2,000,000
雑収入	0	14
繰入金収入	0	10,000,000
事業活動収入計	12,900,000	12,120,014
2 事業活動支出		
事業費支出	11,250,000	11,146,195
管理費支出	1,650,000	327,899
繰入金支出	0	0
事業活動支出計	12,900,000	11,474,094
事業活動収支差額	0	645,920
II 投資活動収支の部		
1 投資活動収入	0	0
2 投資活動支出	0	0
投資活動収支差額	0	0
III 財務活動収支の部		
1 財務活動収入	0	0
2 財務活動支出	0	0
財務活動収支差額	0	0
IV 予備費支出		
当期収支差額	0	645,920
前期繰越収支差額	0	13,231,492
次期繰越収支差額	0	13,877,412

貸借対照表

(平成23年3月31日 現在)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,945,070	3,918,685	△ 1,973,615
未収金	7,162	17,943	△ 10,781
仮払金	295,050	295,050	0
前払費用	199,150	26,250	172,900
立替金	12,343,523	9,142,334	3,201,189
流動資産合計	14,789,955	13,400,262	1,389,693
2 固定資産			
(1)基本財産			
	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	100,000,000	100,000,000	0
(2)特定資産			
特定預金	0	10,000,000	△ 10,000,000
特定資産合計	0	10,000,000	△ 10,000,000
(3)その他固定資産			
その他固定資産合計	463,557	609,943	△ 146,386
固定資産合計	100,463,557	110,609,943	△ 10,146,386
資産合計	115,253,512	124,010,205	△ 8,756,693
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,369,922	778,713	591,209
預り金	6,178	0	6,178
流動負債合計	1,376,100	778,713	597,387
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,376,100	778,713	597,387
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	100,000,000	100,000,000	0
指定正味財産合計	100,000,000	100,000,000	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	13,877,412	23,231,492	△ 9,207,694
正味財産合計	113,877,412	123,231,492	△ 9,207,694
負債及び正味財産合計	115,253,512	124,010,205	△ 8,610,307



平成23年度 マルセン8号

発行日/平成24年3月

発行所/財団法人マルセンスポーツ文化振興財団

所在地/〒700-0023 岡山県岡山市北区駅前町1丁目2番4号

電話/(086)800-0077 ファックス/(086)800-0055

URL <http://www.marusen-zaidan.or.jp/>

(本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています)